

令和三年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「マシング州ザカ郡におけるムシソミッション病院における臨床化学分析装置整備計画」引渡式

7月14日、令和三年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「マシング州ザカ郡におけるムシソミッション病院における臨床化学分析装置整備計画」により、整備された医療機器の引渡し式が開催されました。

同プロジェクトでは、マシング州で活動しているNGO「ソリダーメッド」により、適切な医療を受けるため必要な検査を行うための臨床化学分析装置がムシソミッション病院に整備されました。

マシング州ザカ郡では、医療が必要になった場合、村にある小さな診療所を利用していますが、簡単な病気にしか対応していません。そのため、多くの住民は、ムシソミッション病院に医師の診断や治療を求めてやってきます。しかし、同病院には臨床化学分析装置が設置されていなかったため、糖尿病、高血圧、HIV等に必要な検査することができませんでした。また、同装置を使った検査を受けるにはマシング州都のマシング市にある私立研究所への交通費と高額な検査料が必要になりますが、同地域では住民の大半が定職に就けておらず、日雇い労働や農業や家畜等で生計を立てているため、必要な検査を受け適切な治療を受けることができず、予防できるはずの病気が重症化している状況にありました。

同プロジェクトにより、低価格かつ短時間で、より正確な検査が提供できるようになりました。また、ザカ郡だけでなく、周辺に住む住民も検査を低価格で利用することができ、病気の予防や適切な治療を受けることができます。

式典では、ソリダーメッドほか地元関係者から、我が国の支援により同地域の住民が低価格で最新医療を利用できることに対して感謝の意が述べられました。また、熊谷臨時代理大使からは、長年にわたりマシング州の医療体制を支援してきたソリダーメッドを称賛するとともに、新しく設置した検査装置が、住民にとって有益なものとなり、これを通じ、多くの人が医療を受けられる社会になってほしいと述べました。



熊谷臨時代理大使からのスピーチ



地元行政代表者からのお礼のスピーチ



設置した化学分析装置の使用開始を祝うテープカット



ムシソミッション病院の医療従事者との集合写真



富士フィルム製の臨床化学分析装置